

令和臨調「知事連合」設立趣意書

我が国では、人口減少が急速に進んでおり、このままでは国全体の活力は失われ、国家としての存立が危ぶまれている。

国においては、人口減少を克服し、将来にわたって成長力を確保するため、地域の個性を活かしながら、地方の社会課題を解決し、魅力を向上させることで、地域活性化を加速する政策が進められているところである。

こうした中、令和4年6月、令和国民会議（以下令和臨調）が発足した。令和臨調は、日本社会と民主主義の持続可能性を基本テーマに、長年先送りされてきた課題や、党派を超えて取り組まねば解決できない課題について議論を喚起し、合意形成活動に取り組み、現役世代の責任としてポストコロナの社会づくりに向けて、日本の未来をまもり、希望ある日本を創り、育てるために活動を行うこととしている。

我々知事有志は、かかる令和臨調の活動趣旨に賛同し、令和臨調のパートナーとしての役割を果たしつつ、地方の視点により活動を展開することを決意した。

そこで、現在の地方を取り巻く状況に問題意識を共有する知事有志が連携し、人口減少に伴う課題の克服と地域経済の活性化を図るため、令和臨調「知事連合」を設立する。

令和4年11月1日

設立発起人

宮城県知事 村井 嘉浩
茨城県知事 大井川 和彦
岡山県知事 伊原木 隆太
広島県知事 湯崎 英彦